

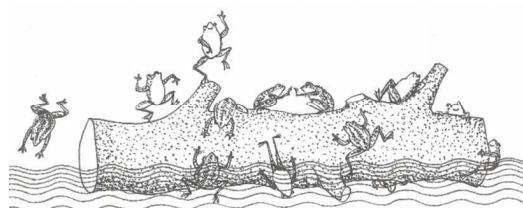


世界が 大きく 変わるとき

イソップ寓話に「王様を欲しがったカエル」という話があります。寓話とは、たとえ話のことです。こんなあらすじです。

池に住むカエルたちは、自分たちをまとめてくれる王様がほしいと、神様に頼みに行きました。けんかやもめごとを、自分たちで解決するのに疲れてしまったからです。神様は大きな木切れを池に投げ入れました。カエルたちは皆、その大きな音に驚き、これはすごい王様が来た、これで争いは無くなると喜びます。しかし、しばらくすると、木切れが何

もしないことに
気付き、馬鹿
にして、もっと
いい王様をく
ださいと再び



頼むのでした。神様は、今度は蛇を池に投げ込みます。カエルは、一匹残らず蛇に食べられてしまいました。

予想外の出来事に対して、カエルたちが何もできないまま、悲劇的な最後を迎えたのはなぜでしょう。誰かに何とかしてほしい、うまくいかないのは誰かのせいだ、と思っているうちに、自分で考える力を失ってしまったからですね。この寓話は、「問題の解決を全て人任せにしていると、結局は自分が危険になる」ことを たとえているように思えます。

もし、カエルたちの中に、自分にできることをしようとするカエルがいたら、どうだったでしょう。一緒に考える仲間がいれば、こんな話し合いが始まったかもしれません。

「蛇を追いつく作戦を相談しようよ。」「いいね。でも、それより他の池に皆で引っ越したらどうかな。」「なるほど。」「いや、その池も危険かもしれない…。」「それも言える。」「そもそも、池が見つからなかったらどうする?」「確かに。じゃあ、蛇がいても大丈夫な方法を考えよう。」「こんな方法はある?」…考えを出し合うことによって、問題はきっと解決に向かい、カエルたちは幸せに暮らし続けられたことでしょう。

(ここまでの話は、昨年度卒業生への式辞からの抜粋です。)

この寓話が作られたのは、どんな時代だったのか、気になって調べてみたら、今から二千五百年以上も前の、古代ギリシャでした。孔子や釈迦が生きた年代

も、ほぼこの頃です。ソクラテスは、これより少し後で、彼がイソップ寓話を書き取ったことは記録に残っています。“こうした思想家の言葉が多く残されたり、戒めとしての寓話が流行したりしたのは、この時代が、社会ががらりと変わるような大変革期だったからではないか”という説もあります。

日本で言えば、縄文時代です。こんな大昔に、「一人一人の主体性」の大切さに気付かせるような寓話が作られていたことに、私は驚きました。



さて、世界が注目するトヨタの未来都市「ウーブンシティ」の着工を来年に控え、先日、なんとOECD教育スキル局のプロジェクトマネージャーから、裾野市に問合せがあったそうです。フランスと日本でZOOMの会議をし、「裾野市の学校では、どういった教育が進められているか」等と、教育長が質問を受けたと聞いています。

裾野市では、GIGAスクール構想に基づき、小中学生一人1台のタブレット端末による学習を、来年4月から実現することを目指しています。その準備として、家庭の



ネット環境を把握するための調査用紙を、南小では本日配付しました。

(この紙の裏面と、調査用紙をご覧ください。)

10年後、いや、5年後、どんな世の中になっていることでしょう。急速に変化する時代が、始まろうとしています。いよいよです。

今回の「みなみっ子」は、6年生にぜひ読んでほしいので、読みがなを付けました。

令和 2 年 7 月 2 0 日

保護者 様

裾野市立南小学校
校長 鈴木 弘美

児童・生徒のインターネット環境調査実施のお願い

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、裾野市内各小中学校では、学校と家庭とのオンライン授業の可能性について実態把握をするために、全家庭を対象にインターネット環境についてアンケート調査を実施します。学校休業中（5月）にも「まもメール」を通じてアンケートの実施にご協力いただきましたが、昼の時間帯で児童が学習のために使用できるインターネット端末やインターネット環境の有無など、さらに条件を絞って調査し、オンライン授業への準備を進めていきたいと考えています。改めて調査をすることとなりました。

別に配布いたします『児童生徒のインターネット環境調査』をご覧くださいながら、メールでの回答をお願いします。全校児童の調査となっていますので、兄弟がいるご家庭は、人数分回答していただくようお願いいたします。締め切りは7月27日（月）です。裏面の学校便り「みなみっこ NO. 8」もお読みください。

問い合わせ先 055-995-1373
担当 教頭 坂田

回答はメールでお願いします

児童生徒のインターネット環境調査

全校児童の調査です。兄弟姉妹がいるご家庭は
人数分回答をお願いします。

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

学校と家庭とのオンライン授業の可能性について実態把握をするために、各御家庭のインターネット環境について調査をいたします。以下の質問にお答えください。当てはまる（ ）に○をお願いします。

- Q 1 昼間の時間帯（臨時休校などを考えたとき）、本人が専用に学習のための送受信ができるインターネット端末はありますか。ある場合は、端末の種類もご記入ください。

(例) パソコン・スマートフォン・タブレット等

() ①ある ()

() ②ない

- Q 2 昼間の時間帯、本人が利用できるインターネットの通信環境について、以下から選択してください。

() ①Wi-fi

() ②パケット通信のみ（動画が見られる十分な容量がある）

() ③パケット通信のみ（動画を見られる十分な容量はない）

() ④ない

※動画が見られる十分なデータ容量は、今回の場合は18GB以上を目安とします。

- Q 3 本人が学校等から配信された動画（You Tube 等）を昼間に視聴できる環境があるかについて、以下から選択してください。

() ①本人だけでも視聴できる

() ②保護者在宅時ならば、視聴できる

() ③視聴できる環境はない

- Q 4 昼間の時間帯、家庭学習の充実のために、動画等の送受信ができる環境があるかをお聞きます。次のうち、本人が利用できる周辺機器はありますか。あるもの全てを選択してください。マイクとカメラがある場合は、内蔵か外付けかも選択してください。 あてはまる所を○で囲んでください。

カメラ ある (①内蔵 ・ ②外付け) ・ ③ない

マイク ある (①内蔵 ・ ②外付け) ・ ③ない

プリンタ ①ある ・ ②ない

※内蔵 … スマートフォンやタブレット等にもともとついていてるもの